

山口大学教育学部附属特別支援学校

令和6年度 特別支援教育授業づくり研修会

令和7年1月31日(金)実施

育成すべき資質・能力を支える「自立活動」を基軸としたカリキュラムモデルの開発

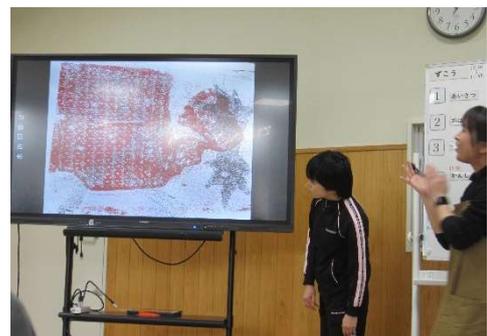
ー自立活動の個別の指導計画の作成と活用をとおしてー(3年次)

本校では、『育成すべき資質・能力を支える「自立活動」を基軸としたカリキュラムモデルの開発ー自立活動の個別の指導計画の作成と活用をとおしてー』とテーマを設定して研究に取り組みました。本研修会では3年間の研究成果を報告しました。午前の全体会では各学部の代表児童・生徒がチャレンジタイムの取組について発表しました。公開授業では、参加していただいた先生方とともに、自立活動の視点を踏まえた各教科等の授業づくりについて検討し、多くの御意見や気付きを得ることができました。また、午後には柳澤亜希子准教授による「自立活動の指導において必要な専門性とそれを支える学校体制づくり」についての講演が行われました。

チャレンジタイム取組発表



小学部 図画工作科 「いろいろ うつして」



中学部 美術科 「アクションペインティングを使った抽象画の制作と鑑賞 ～色や形との格闘～」



高等部 職業科 「新社会人おたすけコンテンツの制作」



講演



教材展示コーナー



～アンケートより～

- ・子どもたちがチャレンジしたい、触ってみたい、やってみたいと思えるような様々な選択肢がありました。
- ・コンテンツを自分たちで作っていくことが参考になりました。題材もこれからの生活に生かせるもので生徒の社会参加と自立のつながる良い題材だと思いました。
- ・自立活動で教科等と関連をもたせることや、指導において教員間で協力連携することの必要性などが勉強になりました。

小・中・高・特別支援学校の多校種に及ぶ先生方、他県からも多くの方にご参加いただき、貴重な御意見をいただくことができましたこと心よりお礼申し上げます。今後の研究や教育活動に生かして参りたいと思います。